

まもなく夏本番の時季になりました。昨今地球温暖化でCO₂削減が叫ばれておりますが、私が勤める大学は都内でもCO₂排出量が多いため、その対策に大学で取り組んでいます。原油も毎日最高値を更新しています、新たにバイオエタノールなども開発され、石油のエネルギーに頼らないものが開発されてきています。臨床検査もエネルギーを効率よく利用して、より有用なデータを臨床側に報告できるような研究・開発を行うことが必要でしょう。

“ワンポイントアドバイス”で「ホルマリン固定組織標本の凍結切片作製法の検討」や、“Laboratory Practice”では「標本作製の自動化」などが紹介され、手作業が多く効率化が難しいと思われていた病理検査にも自動化が進んできています。また、“けんさ質問箱”で取り上げたように検査に使用するホルマリンの取り扱いをはじめ、働く人の安全や健康確保のために各種の規制も実施されてきています。“技術講座”では「臨床化学基礎技術シリーズ」としてこの4月号より臨床化学に必要な物理化学パラメータが連載され、5月号は「分析ツールその1：容量と重量(質量)」、6月号は「その2：温度」、そして今月号は「その3：圧力」が解説されています。このように臨床検査技師は、臨床検査のみではなく、あらゆる方面の知識を集めて仕事に臨むことを心がけていくことが大切です。また今月号は“一般検査室から 私の一枚”と“ラボクイズ”で、最近では珍しい寄生虫が掲載されていますので、寄生虫について勉強をされて、クイズに応募してみたいかがでしょうか。さらに今月号は、特発性血小板減少性紫斑病、血小板機能検査の標準化、赤血球形態異常に関する標準化、再生不良性貧血に関連する検査値の推移など血液検査に関する知識を習得するには最適な号となっています。

今年の夏は、冷夏か猛暑か、水不足か大雨か予想が難しいですが、夏休みに出かけてもあらゆる方面から知識を身につけることを心がけ、臨床検査に役立ていきたいと思います。

(曾根伸治)

病気のはなし

成人T細胞白血病/リンパ腫——高崎由美, 他
技術講座

フィブリノゲン——奥村伸生, 他
尿を対象としたプロテオミクスの最前線——山本 格
臨床化学基礎シリーズ・5 分析ツール

その4：伝導率・電気量・起電力——関口光夫
オビニオン

2008年度診療報酬改定と臨床検査——渡辺清明
疾患と検査値の推移

成人Still病——山口正雄, 他
ワンポイントアドバイス

骨髄パラフィン標本での

ナフトールASD染色——阿部倫子, 他
臨床医からの質問に答える

免疫測定法におけるHAMAの干渉——亀子光明, 他
Laboratory Practice

臨床生理：脳波検査のステップアップ・9

成人脳波判読——橋本修治
生化学：クレアチニン値の補正——上竹勇三郎, 他

微生物：CLSI法による淋菌の感受性検査——幸福知己
一般：内部精度管理・3

穿刺液検査(髄液ほか)の精度管理——大田喜孝
生化学：PIVKA-II測定のピットフォール

——平松久美子

私の一押し免疫染色/一般検査室から 私の一枚/
ラボ・クイズ/トピックス/他

ラボ・クイズ正解者

第36巻5号(2008年5月号)

相内笑梨香(旭川市)/花田妙子(函館市)/
小濱郁美(青森市)/近藤綾(郡山市)/大塩
奈美(古河市)/山田幸栄(朝霞市)/小泉祐
子(東京都板橋区)/赤羽貴行(安曇野市)/
多城恵(中野市)/北平敏幸(海津市)/古田
治(加茂郡)/近藤直美(岐阜市)/中政人
(築上郡)/杉美幸(うきは市)/中智美(豊
前市)/東谷亜美(日田市)

●編集委員

菅野 治重

(編集主幹)

伊瀬 恵子

桑 克彦

曾根 伸治

高木 康

手島 伸一

永江 学

矢富 裕

(五十音順)

検査と技術

2008年7月1日発行(毎月1回1日発行)

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%)

年ぎめ予約購読料 19,450円(送料弊社負担・増刊号を含む13冊)

発行 株式会社 医学書院
代表者 金原 優
☎113-8719
東京都文京区本郷1-28-23

電話 本誌編集室直通(03)3817-5713
ファクシミリ (03)3815-7802/(03)3815-7982
E-mail kensa@igaku-shoin.co.jp
http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kensa/

販売部直通 (03)3817-5659
振替口座 00170-9-96693
印刷 ㈱アイワード (011)241-9341
広告申込 ㈱東広社 (03)3409-8803

Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は㈱医学書院が保有します。

JCLS ㈱日本著作出版権管理システム委託出版物

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に㈱日本著作出版権管理システム(電話03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

医学書院ホームページ(インターネット)はhttp://www.igaku-shoin.co.jpです。

(担当 山本・小藤・中田)